

## 第5学年 図画工作

### 第5学年の学習到達目標

- (1) 想像的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。
- (3) 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにする。

### 第5学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	春の花	●春の花を細部まで観察し、絵の具を使って表現する。	○理科で学習した菜の花をよく観察し、混色を使って絵の具で表現する。
	アニメーションを作ろう	●パラパラアニメーションの仕組みを使って表したいことを思い付いたり、形や色、ストーリーなどを考えたりする。 ●見たことのある面白い動きを表現に取り入れたり、表したいことに合わせて形の変化を工夫したりして表す。 ●友人と作品を見合い、表現した思いや意図、表し方の特徴について話し合い、その良さを感じ取る。	○実際に動かしてみても、動きや変化などが、さらに楽しいものになるような形や色などの効果を考える。  ○自分の表現を見直して、新しいコマを組み入れたり、順番を入れ換えたりするなど、効果的な動きや変化が表れるように工夫する。 ○つくったアニメーションを友人と見合い、形の変化や表し方のよさについて話し合う。
	え？名前で絵	●名前の文字を基に絵に表すために、アイデアスケッチをしながら文字の形や色を考える。 ●文字を変形させたり、色の組み合わせを考えたりしながら、表し方を工夫する。	○様々な種類の文字について、何通りもの変形や、色の組み合わせなどを考える。  ○文字の形や色が効果的に見えるように、自分のイメージに合った描画材を選び、表し方を工夫する。
	ねん土の板から	●粘土の板を曲げたりねじったりしてできる形から、つくりたい生き物を思い付く。 ●粘土の板の厚さや曲げ方、部品の付け方、へらなどの用具の使い方を工夫する。	○粘土の板を加工して生まれた形から発想し、不思議な生き物を想像する。  ○自分が表したい立体的な形になるよう、粘土の板の厚さや起こし方、土台の使い方などを工夫する。
	不思議な絵	●不思議に見える絵の面白さを味わおうとしている。 ●不思議に見える作品について話し合い、表し方の特徴などをとらえる。	○不思議に見える絵の面白さを味わい、その工夫を楽しむ。 ○不思議に見える表し方を調べて友人と紹介し合い、それぞれのよさや表し方の特徴などをとらえる。
後期	風が見えたら	●風を可視化する方法を思い付き、材料の形や色、動きの感じなどを基に場所の構成を考える。 ●風が吹く場所の特徴を生かしながら、材料の使い方を工夫する。	○風を感じる場所を探し、その場所の特徴、風の吹く様子などをとらえ、風を可視化する方法を考える。 ○風の吹く方向や強さなどを考えながら、材料の切り方やつなぎ方、動く仕組みを工夫する。
	ぬのから生まれた形	●自分のイメージに合わせて、布のしぼり方や結び方を工夫する。 ●友人と作品を見せ合い、布から生まれる形のよさや面白さをとらえる。	○布のもつ形や色などを生かして、いろいろな方向から見ながら、しぼる位置やしぼり方の強さなどを工夫する。 ○友人と作品を見せ合い、布による表現の特徴や、形の違い、加工の工夫などをとらえる。

	刷り重ねて表そう	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の表したいことに合うように、彫る線の太さや絵の具の濃さなどを工夫する。</li> <li>●作品を見せ合いながら、表したかったことなどについて話し合い、表し方の特徴や一版多色木版に表すよさを感じ取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表したいことに合わせて、構図や配色、色を付けて刷る順序などを工夫して表す。</li> <li>○作品を見せ合いながら、彫りや刷りの効果を生かした表現のよさをとらえる。</li> </ul>
後期	アート・レポーターになって	<ul style="list-style-type: none"> <li>●美術作品を見て、自分が感じた内容を伝えるための文章にまとめることを、楽しむ。</li> <li>●美術作品をよく見て、紹介する文章にまとめながら、作品の全体の印象や細かい部分の特徴などをとらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品をよく見て、表された内容を読み取り、自分の考えを文章にまとめる。</li> <li>○紹介する文章にまとめながら、作品に表された形や色のよさや面白さ、動きや奥行きの感じなどをとらえる。</li> </ul>
	板を切り抜いて	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ドミノのピースとして一つ一つが立つ面白い形を思い付き、それぞれの色を考える。</li> <li>●安全に電動糸のこぎりを使いながら、板材の切り方を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○切り抜いた一つ一つのピースと、組み立てたパズル全体の、両方の形や色のよさや面白さを考える。</li> <li>○無駄のない木取りをし、安全に電動糸のこぎりを使って板を切り抜き、自分なりの思いを工夫して表す。</li> </ul>
	使って楽しい焼き物を	<ul style="list-style-type: none"> <li>●焼き物は使う目的によって異なるつくり方があることを知り、自分で使ったり家に置いておきたいと思ったりする焼き物をつくることに、取り組む。</li> <li>●自分のつくりたい形に近づくように、ひもづくりや手びねりなど、成形方法を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○使う場面を想像し、使う人の好み、使いやすさなどを考えて、生活を楽しむ焼き物を工夫してつくることに取り組む。</li> <li>○ひもづくりや手びねりなどの成形方法に慣れ、自分のつくりたい形の特徴がよく表れるように、つくり方を工夫する。</li> </ul>
	感じたことを伝えたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●表したいことが伝わるように、形や色、構図などを考える。</li> <li>●表したいことが伝わるように、材料や用具の特徴を生かし、表現方法、構図などを工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分が感じた情景にふさわしい表し方になるように、形や色、紙の種類や大きさなどを考える。</li> <li>○自分の表したいことが明確に伝わるよう、様々な構図や表現方法を試すなどして、自分のイメージに合った表現を工夫する。</li> </ul>

## 評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【造形への関心・意欲・態度】 自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、その喜びを味わおうとする。</p> <p>【発想や構想の能力】 見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をしたりする。</p> <p>【創造的な技法】 表したい意図や周りの様子に関連付けながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。</p> <p>【鑑賞の能力】 造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>【造形への関心・意欲・態度】 主に制作や構想・構成を練る段階での積極性、学習への取り組み状況、作品の提出状況などにより評価します。</p> <p>【発想や構想の能力】 主に制作前の構想を練る段階でのアイデア、制作途中、完成後の構想の生かされ方などにより評価します。</p> <p>【創造的な技法】 主に場面に応じた用具、材料の使い方が適切に行われているか、学習過程における技能の習熟状況、完成した作品などにより多面的に評価します。</p> <p>【鑑賞の能力】 主に教科書などの作品や児童相互の作品鑑賞、鑑賞後の自分の作品への生かし方などにより評価します。</p>
--	--

## 特色ある学習方法

- (1) 制作などの実践的・体験的な学習活動の中で、5年生の発達段階に応じた用具・材料の扱い方を身に付けます。
- (2) 身近な生活の中の造形活動，表現活動に目を向け，楽しく新たに生活の中に取り入れられる創造活動へとつなげていきます。
- (3) 造形活動を「楽しむ」ことや，技能を身に付けながら，自分たちの生活に彩りを添える美的感覚を養います。

## 使用教材等

- 教科書 「図画工作5・6上」(日本文教出版)
- 材料…粘土，ダンボール，くぎ，板，ベニヤ板，紙やすりなど
- 用具…水彩絵の具，ペンチ，ラジオペンチ，カッターナイフ，はけ，ローラー，かなづち，のこぎり，電動糸のこぎり，きり，版画用具一式など

## 留意事項

- (1) 5年生で「図画工作5・6上」，6年生で「図画工作5・6下」の教科書を学習します。
- (2) 制作などの実習を効果的に進めるために，学習環境を整えるなど事故の防止に十分留意しています。
- (3) 5年生の発達段階に必要な用具，材料を網羅するよう，段階的に年間カリキュラムを考え，必要に応じて，教材セットを使用し，学習に役立てています。
- (4) これからの生活に生かしていくことができるような「楽しむ」造形活動を多く取り入れていきます。